

事務事業名 境界管理システム導入事業

政策:01 暮らしを支える快適なまちづくり	
施策:01 道路網の整備・充実	部名:都市建設部
基本事業:99 施策の総合推進	課名:土木課

計画年度	平成21年度	～	平成23年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
境界確認申請者				市道及び法定外公共物の境界の確定したデータをシステム化するための境界管理システムを導入する。 また、都市整備課所管の地形図をベースとして行った。							
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				業務内容							
境界確認資料が適正に整理される。				委託料 12,705,000円 データ入力 2,212件（委託） データ作成費 一式 システム構築費 一式							
4 活動指標・成果指標・事業費の推移											
区分	指標名称			単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値			
活動指標①	データ化した境界確認資料の件数			件	-	2,212	-	-			
活動指標②											
成果指標①	データ化された境界確認資料の件数			件	-	2,212	-	-			
成果指標②											
事業費				千円	0	12,705	0				
うち一般財源				千円	0	12,705	0				
5 目的妥当性											
☐ 法定受託事業である（根拠法令→） ☒ 妥当である ☐ 妥当性が低い				市の管理する道路・水路の境界確認資料の管理は市が行うべきである。							
6 上位の基本事業への貢献度											
☐ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→） ☒ 基礎的事務事業				無し							
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討											
☐ 対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる ☒ 対象や意図の見直しはできない ☐ その他				無し							
8 有効性（成果状況）											
☐ あがっている ☒ どちらかといえばあがっている ☐ あがっていない				約2,200件分のデータ入力を行ったが、残件数が3,000件程度あるので、5月末から職員により入力を開始した。							
9 有効性（成果向上余地）											
☒ 成果向上余地・大 ☐ 成果向上余地・中 ☐ 成果向上余地・小・無し											
10 事業の再編成											
☐ 類似の事業があり、再編成できる ☐ 類似の事業はあるが、再編成できない ☒ 類似の事業はない				無し							
11 効率性（コスト削減の方法）											
☐ ある ☒ ない				無し							